

委員名	【報告事項】 令和4年度上半期 芦屋川カレッジ及び大学院、公民館講座等の実施状況について	【協議事項】 令和4年度下半期 芦屋川カレッジ及び大学院、公民館講座等の実施予定について
今西 委員長	<p>コロナ禍が収まらない中ででの事業実施について、関係者のご苦勞に敬意を表します。「芦屋川カレッジ第39期」は、少々定員減の様子ですが、内容の確かさでもって健闘していると思います。「聴講生」や「大学院生」は問題を感じません。（応募者数の記載がほしい。）「春・夏の公民館講座」についても順調に実施された結果が示されています。「公民館音楽会」は、さらに事業を広げていただきたい。報告書の5以降の各種プログラムについても内容が豊富で良い企画でした。青い鳥学級やくすのき学級の継続発展を期待しています。全体としての意見ですが、デジタル・ディバイド問題の解消を視野に入れたICT基礎教育、LGBTQプラスを考える人権教育などがあればと思いました。今後、検討してください。</p>	<p>「秋・冬の講座」は、さまざまな学習領域にわたっており、また、従前の講座の継続発展をふまえたプログラムが多いので安心できます。講師の先生方も多彩なメンバーで期待できます。ただ、プログラムが、公教育の枠を超えた専門的なものにならないようにする留意が必要ですが。</p>
鹿野委員	<p>芦屋川カレッジのプログラムについて、高齢者の生活基礎能力として健康維持、ICT、「死をめぐる学び」などを始めたことは画期的なカリキュラムであると評価します。芸術文化のみならず、総合的に学べる貴重なコミュニティですので、定員に満たなかったことは一時的なことと思われるます。</p>	<p>公民館のWi-Fi環境についてよろしいでしょうか。201、202号室はWi-Fiが繋がらぬお部屋ですが、災害用のため、長時間繋げることができないと聞きました。数年前のオンライン一辺倒の会合から、対面式へと徐々に戻ってきていますが、完全な対面式ではなく、オンラインと対面の合わせたハイブリッド式会合が現在求められており、今後もこの傾向は続くと思います。対面に戻り、そのよさを改めて実感しましたが、高齢者や小さなお子さんがおられるなど、外出が比較的難しい方は今後もオンラインでの会合参加を望んでいます。神戸市の「あすてっぶコワーキング」はWi-Fi環境が整備されているように、将来、公民館のお部屋もWi-Fiが使えるのがあたり前、という時代が来ると思います。芦屋川カレッジでもICTの教育を取り上げておられますし、何より必要とされていますので、芦屋市公民館のより早いWi-Fiの整備の検討をしていただきたく存じます。</p>
木ノ下 委員	<p>夏休み子ども教室の講座内容はバラエティに富み親子で受けたい興味深い講座がたくさんありました。コロナ第7波で中止になったり、内容に制限がかかったりした事が残念です。</p>	<p>公民館運営審議会が、今回も書面開催になりましたので、次回は対面の審議を切望しますが、どうしても無理な場合は、ZOOM等のWeb開催をご検討ください。</p>
西本委員	<p>昨年度以上に、感染症伝播の波が押し寄せるような状況のもと、第39期受講生について、各コースとも定員をほぼ充足し、しかも定員超えのコースも見受けられたことは、当該公民館の職員の方々の防疫体制の徹底とともに、参加者の積極的な感染抑止対策をもって参加したいとする意欲を有していることが推察される。印象を有している。聴講生や大学院15期。時代に応じた平和への願いを込めた講演会・公開セミナーを準備開催されたことにつきまして、その成果は、このコロナ禍にあっても定員超となったことから、非常に高いことが見いだされる。併せて公民館音楽会も定員を超えた受講者を得られている。常設展示やギャラリーの内容も魅力あるもので、来館者数増の背景となっていることが推測できる。夏休み子ども教室については、中止や未実施の講座が4件あったことは、この社会状況は、その数で抑えられたことが運営スタッフの方々のご奮闘の成果と拝察している。開催実施した講座では、いずれも定員をほぼ充足する受講者となったことは、昨年来の予約状況から実質受講への配慮が、運営者による方策が実っていることと考えられる。</p>	<p>このたび春季・夏季の大いなる成果をもとに、より感染症伝播の厳しい季節となる秋・冬を迎えるものの、各種講座を実施されることに不安材料は少なく、期待度は高い。ご提示された内容に異論をはさむ余地はないと考えている。</p>
横田委員	<p>コロナの感染者増により運営難しい中、様々な講座を実施されている。席の工夫、換気の徹底など今後も感染対策をしっかりしながら実施してほしい。</p>	<p>様々な分野の講座がラインナップされているが、一部のみに傾ってしまうのではないかと。もう少し生活に密接した講座があってもよいのでは。（法律、家庭、芦屋の自然等）</p>